

平成25年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会 第1回美浜区役所部会議事録

1 日時：平成25年7月31日（水）午後2時～午後4時

2 場所：千葉市美浜区真砂コミュニティセンター4階 集会室

3 出席者：

(1) 委員

小川真実委員（部会長）、鶴見泰委員、志水今朝五郎委員、安達弘子委員

(2) 事務局

土屋区長、山田補佐、坂本地域づくり支援室長、小玉主査、相澤主任主事

4 議題：

（1）部会長及び副部会長の選出について

（2）平成24年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市美浜区高洲コミュニティセンターについて

イ 千葉市美浜区真砂コミュニティセンターについて

（3）その他

5 議事概要：

（1）部会長及び副部会長の選出について

委員の互選により、小川委員を部会長に、木頭委員を副部会長に選出した。

（2）平成24年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市美浜区高洲コミュニティセンターについて

平成24年度に千葉市美浜区高洲コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

イ 千葉市美浜区真砂コミュニティセンターについて

平成24年度に千葉市美浜区真砂コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

（3）その他

今後の年度評価のスケジュールについて、事務局から説明をした。

6 会議経過：

○司会 お待たせいたしました。委員の皆様におかれましてはお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

定刻となりましたので、只今より平成25年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会、第1回美浜区役所部会を開会いたします。

私は本日の司会を務めさせていただきます美浜地域振興課地域づくり支援室の小玉と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づきまして、公開となっております。なお、現在は傍聴の方はいらしておりません。

本日は、地球温暖化防止の取り組み一環としまして、職員につきましては軽装とさせていただいておりますので、ご了承のほどよろしくお願ひいたします。

それでは、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

公認会計士でいらっしゃいます、木頭委員につきましては、本日、所用により欠席でございます。

千葉大学法経学部准教授でいらっしゃいます、小川委員でございます。

弁護士でいらっしゃいます、鶴見委員でございます。

高洲コミュニティセンター活動推進区議会会長でいらっしゃいました、志水委員でございます。

美浜区民生委員・児童委員協議会会长でいらっしゃいます安達委員でございます。

以上、4名の皆様でございます。

続きまして、事務局職員をご紹介いたします。

美浜区長の土屋でございます。

地域振興課補佐の山田でございます。

地域づくり支援室長の坂本でございます。

地域づくり支援室主任主事の相沢でございます。

以上でございます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

それでは、開会にあたりまして、土屋区長からご挨拶を申し上げます。

○美浜区長 土屋でございます。改めまして、本日はご多忙の中、千葉市の指定管理者選定評価委員会、美浜区役所部会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆さま方には日ごろから市政及び区政に対しまして格別なるご理解、またご協力を賜っておりますことを、この場をおかりして御礼を申し上げます。

本日、ご審議いただく高洲と真砂のコミュニティセンターでございますが、高洲が昭和55年、真砂はその翌年の56年に建設されたものでございます。当時、千葉市ではまだ区政は引いておりませんでしたが、今の区政の領域を見てみると、当時、人口が約13万人でございました。それから30年以上経ちました現在では、人口は15万を若干割っています、14万9,000人ぐらいでございますが、全体の人口としまして約2万人が増えているわけでございます。

美浜地区はここ10年ぐらい人口の増加はほとんどないわけですが、ただこの30年間を振り返ってみると、当時は13万人の人口に対して14歳以下、中学生以下の皆さん方が約4万人を超えていました。これが30年間で約2万人に減っております。その代

わり、当時はんどいらっしゃらなかつた高齢者の方が、実はこの30年間で約3万人になりますて、人口の増加よりもやはり人口の構成が大きく変わつてきつてゐるといふことでござります。

こういふことは、いわゆるコミュニティセンターを取り巻く環境が大きく変化をするといふところでございまして、施設のあり方もその環境の変化に応じて順応していくかなければいけないのかなといふところでござります。

千葉市では、平成18年からコミュニティセンターには指定管理者制度を導入しております、指定期間は5年間といふことでござります。両コミュニティセンターは現在2期目を迎えていまして、この指定管理者は株式会社千葉マリンスタジアムが1期、2期を務めているところでござります。

おかげさまで、両施設とも年間約10万人以上の方々にご利用をいただいております。私どもとしましても、さらに市民の方々に使いやすい施設となること、また市にとっても効果的・効率的な管理をしていくこと、こういふことを目指しております、本日のまさしく議題でござりますが、よりよい管理形態について後ほど事務局から昨年度の管理の概要をご説明申し上げますので、委員それぞれの皆様方におかれましては、ご専門の立場からどうぞ忌憚のないご意見をいただきたいと思ふます。いただいたご意見は翌年度以降の管理に活かしていただきたいと思ふますので、本日はどうぞよろしくお願ひをいたします。

○司会 ここで土屋区長につきましては、所用のため退席をさせていただきます。

○美浜区長 どうぞよろしくお願ひいたします。

○司会 それでは、議事に入ります前に資料の確認をさせていただきます。

まず、机上に席次表を置いてございます。次に、本日使用する資料ですが、事前に配付をさせていただきましたファイルでの資料でございます。ファイル資料の確認ですが、まず次第がございまして、資料1、千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回美浜区役所部会進行表、資料2、美浜区役所部会委員名簿、資料3、美浜区役所部会で審議する公の施設一覧、資料4の1から4は千葉市美浜区高洲コミュニティセンターの平成24年度の、1番が指定管理者評価シート、2番が事業計画書、3番が事業報告書、4番が財務諸表。資料5の1から3は美浜区真砂コミュニティセンターの平成24年度の、1番が指定管理者評価シート、2番が事業計画書、3番が事業報告書。真砂コミュニティセンターの財務諸表につきましては、高洲コミュニティセンターと同一の指定管理者になりますので、高洲コミュニティセンターの中で審議させていただきます。

資料6が今後の予定についてでございます。参考資料1としまして、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例、参考資料2としまして、千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について、参考資料3としまして、部会の設置についてでございます。

以上になります。

それでは続きまして、会議の成立についてご報告いたします。

本日、全委員5名のうち4名にご出席いただいており、過半数を超えておりますので、千葉市公の施設にかかる指定管理者の選定に関する条例第10条第2項に基づきまして会議は成立しております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。なお、部会長が決定するまでの間、

地域づくり支援室長の坂本が仮議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○司会 それでは、議事進行のほうをお願いいたします。

○仮議長 地域づくり支援室長の坂本です。どうぞよろしくお願ひいたします。

ご承認いただきましたので、仮議長として会議の進行を務めさせていただきます。

それでは議題の1の部会長及び副部会長の選出を行いたいと思います。部会長の役割といたしましては、本部会の議長を務めていただくほかに、部会の招集、また議事録の承認、部会での議決事項を選定評価委員会の会長へ報告すること等を、部会の事務を掌理していただきます。副部会長につきましては、部会長を補佐し、部会長に事故あるときにはその職務を代理していただきます。

まず、部会長の選出を行いたいと思いますが、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第4項に基づき、互選により選出したいと思います。どなたか立候補または推薦される方がいらっしゃいましたら挙手をお願いします。いかがでしょうか。

○委員 委員が所用でご欠席ということなので、僭越ながら私、立候補をさせていただいてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○委員 ありがとうございます。

○仮議長 特に意見等がなければ小川委員に部会長を決定してよろしいでしょうか。

(異議なし)

○仮議長 それでは、小川委員に部会長をよろしくお願ひいたします。

では、ここで部会長さんに一言ご挨拶をお願いしたいと思います。

○部会長 部会長を拝命させていただきました小川でございます。まだまだ経験の浅い、若輩者ではございますが、美浜区役所部会の審議を円滑に進められるよう、また美浜区のコミュニティセンターの発展のために闘争な議論が交換できるように努めてまいりたいと思いますので、どうぞ皆さんよろしくお願ひします。

○仮議長 ありがとうございます。それでは、部会長が選出されましたので、ここで議長を部会長と交代したいと存じます。

それでは、部会長さん、よろしくお願ひいたします。

○部会長 ありがとうございます。

それでは次第に従いまして、議事を進行してまいります。

○部会長 僮越ながら、次に副部会長の選出を行いたいと思いますが、私としてはこちらも互選で選出することになっておりますので、どなたか立候補または推薦される方はいらっしゃいますかと問いたいところです。とはいのもの常任委員を充てたいと考えておりますので、私が推薦させていただくのであれば、木頭委員を推薦させていただいてよろしいですか。

(異議なし)

○部会長 ありがとうございます。では、木頭委員を副部会長に決定させていただきます。

それでは副部会長挨拶と行きたいところですが、欠席ですので議題に進めさせていただ

きたいと思います。

議題2の「(2) 平成24年度に指定管理者の行った施設の管理にかかる年度評価について」に移りたいと思います。まず指定管理者が行った施設の管理に係る評価について、事務局からのご説明をお願いしたいと思います。どうぞお願いします。

○事務局 それでは、評価の概要につきましてご説明いたします。

指定管理者選定評価委員会によります指定管理者の行った施設の管理に係る評価について、ご説明させていただきます。

まず評価の目的でございますが、これは指定期間中の各年度終了後に履行状況の確認を行い、また選定評価委員会への報告をすることによって委員の皆さまからの意見を聴取する機会を設け、次年度以降の管理運営をより適正に行うため実施するものでございます。

次に評価の方法でございますが、まず市が指定管理者による自己評価や指定管理者からの報告書や現地視察、ヒアリング等を通じまして行ったモニタリングの結果等を踏まえ、指定管理者シート、いわゆる年度評価シートを作成いたします。

なお、評価シートの内容については、高洲コミュニティセンターを例に説明させていただきます。

資料4-1をご覧ください。施設によって若干様式は変わることはございますが、評価シートは大きく6つの項目で構成されております。

まず1番目に基本情報、2番目に主な実施事業や利用状況、収支状況などの管理運営の実績。次のページに移りまして、3番目に指定管理者が行ったアンケート調査の結果などの利用者ニーズ、満足度等の把握、そして、またページが移ります、4番目に指定管理者による自己評価、5番目に市が履行状況を確認し評価を行う市による評価、最後に6番目として、委員会から答申していただいた意見を掲載いたします、市民局指定管理者選定評価委員会の意見となっております。さらに、委員の皆様からご意見をいただくにあたってポイントとなります、5、市による評価の履行状況の確認欄について補足の説明をさせていただきます。

こちらには募集要項、管理運営の基準、基本協定書、提案書で定められている仕様のうち、市による定期的な確認が必要な項目が記載されています。モニタリング等によりこの確認事項の履行状況を確認し、その結果を「仕様、提案を上回る結果があった」場合3を、「仕様、提案どおりの実績、結果があった場合」は2を、「仕様、提案どおりの管理運営が行われなかった」場合は1を記載し、3段階で評価をしております。

この市で作成した指定管理者評価シートと指定管理者から提出された事業報告書、財務諸表等の資料をもとに選定評価委員会及び各部会より当該指定管理者による指定管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点や指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するため、当該指定管理者の財務状況などに対するご意見をいただくものでございます。

最終的にそのご意見等の中から部会としての意見を取りまとめていただき、それを部会長より選定評価委員会会長に報告の後、委員会会長より市に対し答申をしていただきます。

なお、答申をしていただいた意見は先ほど説明させていただいたとおり、評価シートの6、市民局指定管理者選定評価委員会の意見欄に掲載されます。

また、評価結果の取扱いでございますが、答申をいただいた委員会の意見を付した年度

評価シートをホームページ上で公開するとともに、指定管理者による管理運営の改善、効率化に向けた取組みの促進のため、その評価結果を当該指定管理者に通知することとなっております。

簡単でございますが、以上でございます。

○部会長 ただいま事務局から評価に関わるご説明を頂戴しましたが、何か質問などございますか。

○委員 市の評価の履行状況のところですが、1か所だけ1がございまして、幼児室の利用促進というところですけれども、これに1をつけられた理由等及び今後の対策についてご説明をいただきたいと思います。

○部会長 いかがでしょうか。

○事務局 評価シートの説明をこれからさせていただきますので、その時にお話をさせていただきます。

○部会長 今の委員からの質問は別途評価シートの説明の時に、再度、事務局からお答えいただくということでよろしいでしょうか。

○事務局 はい。

○部会長 それでは、指定管理者評価シートの仕組みについて事務局から解説、説明をしていただいてよろしいでしょうか。

○事務局 はい。

○部会長 ここで各施設の評価に移りますが、その施設の評価を行う前に真砂コミュニティセンターを見学する時間が必要かどうかを確認させていただきたいのですが、いかがでしょうか。

○委員 先ほど見学しました。

○部会長 事務局で指定管理者の方とお話をされて、準備をされているような状況ですか。

○事務局 ご希望があればということで用意していましたので、大丈夫です。

○委員 ご覧になられるのでしたら、どうぞ。

○部会長 先ほど早目に来た時に、見学させていただきました。

では、十分な知識を持たれているということで判断させていただきますので、各施設の評価に移らせていただきたいと思います。

千葉市美浜区高洲コミュニティセンターについて、事務局からご説明をお願いいたします。

○事務局 それではご説明をさせていただきます。

資料4-1をお開きください。平成24年度指定管理者評価シートについてご説明いたします。

まず1ページの1、基本情報ですが、指定管理者は株式会社千葉マリンスタジアム、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間となっております。

次に、2、管理運営の実績についてでございます。まず、(1)主な実施事業の①指定管理事業につきましては、ご覧のとおりでございます。特に11月3日、4日に行われたコミュニティまつりでは多くの近隣住民の方にもお越しいただき、来場者が約3万人と盛況でした。

②自主事業につきましては、昨年度より6事業多い14の自主事業が実施されました。計画事業につきましては全て実施されており、新規の事業が7事業となっております。新規事業の内訳としましては、上から自習スペース開放・科学工作教室・太巻き祭り寿司教室・邦楽コンサート・骨盤健康体操・ノルディックウォーキング・名画上映会となっております。特に太巻き祭り寿司教室は楽しい教室であると人気が高く、12月に再度開催し、お正月の紅白の太巻き寿司を作るなど、大変好評を得ております。

次に(2)利用状況につきましては、平成24年度の利用者数が11万6,203人で、前年度比で108.1%です。また、稼働率につきましても44.3%と昨年度よりも向上しております。これは平成23年度から導入された利用料金制度が利用者に浸透し、トラブルなく適正な運用が行われていること、利用者のニーズを踏まえた多種多様な自主事業を実施し、利用者サービスの向上に努めていることが増加要因と考えられます。

次に(3)収支状況につきましては、利用料金収入や自主事業における収入が計画額以上となり、支出も計画額を下回ったことから、全体の決算額は164万8,000円のプラスとなっております。

しかし、昨年度の決算額よりも64万3,000円の減となっており、これは電気料金の値上がりなどにより光熱水費が増加したためと考えられます。

次に2ページをご覧ください。

(4) 指定管理者が行った処分の件数、これは施設の貸し出しにおける許可です。

(5) 市への不服申立てについてですが、申立てはございませんでした。

(6) 情報公開の状況ですが、開示請求はございませんでした。

次に3、利用者ニーズ・満足度の把握についてでございます。まず(1)指定管理者が行ったアンケート調査の結果についてでございます。調査の結果といたしましては、普通以上の回答が過半数を超えており、概ね良い評価をいただいております。予約方法に関する満足度が最も低く、インターネットによる予約方法が導入された場合の利用希望は36.8%となっております。これを踏まえ、平成25年11月よりインターネット予約システムを導入予定です。

また、③アンケートにより得られた主な意見、苦情とその対応ですが、まず空調、トイレ等の老朽化への苦情に対しましては、平成24年度に給排水設備改修工事としてトイレの改修を実施しており、トイレの悪臭が解消されました。空調につきましては、今年度に入つてから2回緊急停止しており、修繕により対応をいたしました。空調の改修に係る来年度の予算要求を検討しているところであり、今後も緊急度の高い設備から優先的に改修に努めてまいります。

また壁面や廊下等が汚れているとの苦情に対しましては、経年劣化により老朽化が進んでおりますが、日常の清掃で清潔感が保てるよう努めております。

次に3ページをご覧ください。

(2)市に寄せられた意見、苦情ですが、市長への手紙は2件寄せられました。まず料理実習室に給湯設備を設置してほしいとのご意見に対しては、緊急度の高い設備から優先的に改修を実施しており、今後も施設の充実に努めていく旨を回答いたしました。次に、閉館日についての周知不足とのご意見に対しては、施設内での掲示のほか、市政だよりやホームページにて掲載し、周知を図るよう改善いたしました。その他の意見としましては、

まず太鼓の音がうるさいとの苦情が寄せられることにつきましては、利用団体に対して、太鼓に布をかける、窓を閉める、防音性の高い諸室を利用してもらうよう提案し、騒音対策を講じております。次に、トイレの改修後、個室の中にフックがないとの苦情が多く寄せられることに対しては、早急に対応をし、フックを取り付けました。

次に4、指定管理者による自己評価につきましては、施設管理運営については平成23年度からの有料化に伴う事務処理において、スタッフ教育を徹底し、正確な運営ができた。また、近隣施設等との協力体制を築くことに努めた。維持管理については、市との連携により良好な管理ができた。事業運営については、地域や近隣施設と連携した自主事業や催しを展開し、好評を得ることができたと自己評価しております。

次に5、市による評価ですが、評価は3段階評価の真ん中のAといたしました。理由としましては、利用者のニーズに応じた新規の自主事業を展開したこと、その他の管理運営についても事業計画どおり行われていること、利用者からスタッフ対応に対しても良好と評価されたことによるものでございます。

履行状況の確認につきましては、ご覧のとおりでございます。3点とした項目は11項目、2点とした項目は70項目、1点とした項目は1項目でございます。

3点とした項目の主なものとしましては、(1)市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理、その他市長が定める基準の中の4ページの市からの受託事務、コミュニティまつりの実施がありますが、こちらは2日間で累計3万人が来場し、施設内でのサークル成果の発表や野外でのダンス、演奏、ミニ電車や昔遊び、模擬店、フリーマーケットなどで賑わい、仕様・提案を上回る実績・成果がありましたので3としております。

また(3)施設の効用の発揮、施設管理能力の中の利用促進、予約状況のホームページでの提供につきましては、去年の評価が1であったことを踏まえ、昨年の7月からホームページにて予約状況が掲出されるようになり、迅速な対応により市民サービスの向上に努めたことから、評価を3としております。

1点とした項目は、4ページの中段、幼稚室の利用促進についてですが、児童室の利用者数が年間100人弱と少なく、別棟にある子育てリラックス館などとの連携により自主事業を企画するなどの活用方策を検討していただきたく、1としております。

その他の項目においては概ね仕様、事業計画どおりの実績、成果が認められ、管理運営が良好に行われておりましたので2と評価いたしました。

とりわけ、昨年度の選定評価委員会の際にご質問がありました災害時の対応についてですが、5ページの緊急時の対応にありますように、防災マニュアルや危機管理マニュアルを策定し、窓口で閲覧できるようになっております。

また、平成25年の1月に市より備蓄品が配付され、今年の9月1日に行われる九都県市合同防災訓練も実施する予定となっており、災害時の避難場所として機能するよう務めていることから2と評価しております。したがいまして、5ページにございます全ての項目の評価の平均としましては2.1点となっております。

指定管理者評価シートの説明につきましては、以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。只今、事務局からご説明がありました。この件について審議をしていきますが、先に財務状況のご説明をした方がよろしいでしょうか。

○事務局 構いません。

○部会長 財務状況については、この評価シートに関わってくる管理経費の縮減と関わる内容がありますが、どうしましょうか。先に説明よろしいですか。

○事務局 お願ひいたします。

○部会長 わかりました。

僭越ながらご説明をさせていただきます。資料4-4をご覧ください。よろしいでしょうか。

これから指定管理者の倒産、撤退のリスクについてご説明させていただきたいと思います。本来ならば公認会計士である委員がふさわしいのかもしれません、私、大学では専門で会計学を教えておりまして、それに相当するだけの学識を備えておりますので、委員に代わってご説明をさせていただきたいと思います。

提出された株式会社千葉マリンスタジアムの第24期決算関連書類でございます。こちらには事業報告書、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、内部監査役による監査報告書と附属明細書が付けられております。株式会社千葉マリンスタジアムは、主な事業では、受託事業としてQVCマリンフィールドの管理受託であったり、コミュニティ事業であったり、プラザ事業、動物公園事業などに取組んでおります。

ページをめくっていただいて、3ページ目をご覧ください。株式会社千葉マリンスタジアムの財政及び損益状況の推移を確認したいと思います。

第21期の平成21年4月1日からの資料が添付されておりまして、平成25年3月31日の第24期に至るまで、売上高、利益、損失、一株当たりの当期純利益ないし損失、そして総資産の推移があります。売上高は増加傾向にあり、当期純利益または当期純損失のところは、損失のところが利益に、黒字化しております。その結果、一株当たりの当期純利益も大幅に改善されております。こうした結果が総資産にも反映されておるところでございます。

続きまして、5ページ目の貸借対照表をご覧ください。株式会社千葉マリンスタジアムの貸借対照表を見てみると、総資産が426,202千円、総資産4億円強の会社でございます。そのうち3億円ほど手元で現金及び預金を持っている極めて流動性の高い資産を持っている会社でございます。

向かって右側の負債の部、そして純資産の部に目を向けてみると、特に純資産の部ですが、株主資本の中に資本金が230,000千円、2億3,000万円ありますが、マイナスが幾つも表示しております。マイナスの利益剰余金、そしてその中で繰越利益剰余金、これはもう欠損金を継続して処理できないまま今に至っています。しかし、この会社はこの後の増資をされたことで、この繰越欠損を解消させる方向に一つは努めた。これが今までの指定管理選定評価委員会では問題視をしていたところですが、先ほど見た経年変化のところにもあるとおり、改善はしております。

そして損益計算書を見てみると、次の6ページですが、12億強の売上高で利益が3,800万円。そして経常利益3,700万円で、最終的に税金を納付した後の当期純利益が3,300万円計上をされています。このような状況を鑑みると、財務内容は芳しくはありませんが、改善の傾向があるということです。ですから、指定管理者が直ちに倒産、撤退するリスクは考えにくい状況にあるかと思われます。

以上が財務状況に関する意見でございます。

只今の財務状況に関する意見について、委員の皆様から何かご質問等はありますか。

(質問なし)

特にないものと承りましたので、指定管理者の評価選定シートについて意見交換をさせていただきたいと思います。いかがでしょうか。

先ほどの幼児室の利用促進の件は解決したということですか。

○委員 そうですね。話を聞きましたら。

○部会長 よろしいですか。気になるのですが、その幼児室は基本的に無料ですよね。

○事務局 はい、オープンスペースとなっています。

○部会長 乳幼児を連れて来られる方というの、この館内は割と比重は高いのでしょうか。

○事務局 高洲は複合施設で、別館に子育てリラックス館や図書館もありますので、利用は高いと思います。

○部会長 違う部会の現状で恐縮ですが、稲毛区役所部会を担当させていただいておりまして、長沼コミュニティセンターでは無料で乳幼児室の利用をさせています。どのような形で実際に利用者の方が使われているかというと、時々そこでお子さんのおむつ交換をしたり、授乳をされたりしています。元々、そういったスペースが無いようでしたので、その様な使い方をしていくことを指定管理者が進めているそうです。

自主事業を比較するという活用方法もいいと思うのですが、授乳スペースやおむつ交換のようなものというのは、ここにはあるのでしょうか。

○事務局 ありません。

○部会長 それも踏まえながら、幼児室の利用促進をご検討していただくように、指定管理者には申し伝えたほうがよさそうですね。もしかすると、利用者の中におむつ交換や授乳が必要なお子さんの扱いに戸惑っている方もいらっしゃると思いますので、このスペースを使ってもいいという案内があるといいのかもしれません。それも含めて1という評価は妥当かなと考えますが。

部会長からで恐縮ですが、いろいろと質問をさせていただきたいのですが。利用者とその施設稼働率について、この数字がどれほどこの施設の成果、アウトカムを反映しているのかというのがわからづらい部分があります。美浜区の人口が先ほど区長の説明があったとおり15万人。それに対し、10万人台の人が利用をされています。ほとんどリピーターの方だと思いますが、数字だけを見てみると確かに稼働率は低いなど。

指定管理者の達成率が超過していて、対目標値がマイナスになっており、その原因分析がきちんとできているのかどうかをまず質問として挙げたいのですが。指定管理者から、この原因分析についての説明はありましたか。

○事務局 説明はありません。

○部会長 平成24年度の目標値が8万5,730人で、それを大幅に超えています。株式会社千葉マリンスタジアムは、ここが初めてではないでしょうから、少し目標値を過小に設定したのかなというような見方もできるので、特別な説明がほしかったなど。それが疑問といいますか、意見として捉えていただければ結構です。

○事務局 はい。

○部会長 さて続いて收支状況ですが、164万8,000円程最終的に黒字が確保さ

れており、昨年と比べて、私のメモが正しければ、64万3,000円減になっているということでおろしいですか。

○事務局 はい。

○部会長 64万3,000円もですか。

○事務局 光熱水費が圧迫している状態です。電気代が値上げになったことですか、料理実習室の稼働率が上がってい、ガスを使うということも多くなったことが原因かと思います。

節電対策は昨年に続き行っておりまして、間引きですとか、使わない空間は電気を消しておりますので、節電には努めています。

○部会長 資料4-3の事業実施報告書ですが、これが自己申告による指定管理者の説明ですよね。その中を見ると、料理実習室9.8%の稼働率で、利用者が1,500人弱とあります。施設管理は良好で、設備機器管理良好とありますが、稼働率については説明がないですよね。

○事務局 昨年度より稼働率は上がっております。それから、24年度に給湯設備を整えたので、そこでガス使用量が上がっているというのも考えられます。

○部会長 なるほど。この収支実績で164万8,000円上がっていることに対して、市はこの後どのような話し合いをされましたか。

○事務局 利益の還元というものがありまして、大幅な利益が出た場合、税額を引いて100万円以上の利益があった場合には、その中から40%から50%の間で市に還元していただくというようなことで年次の協定書に定めています。今回は利益の還元はありませんでした。

○部会長 そこは確認していただきたいのですが、緑区役所では確かに120万円程利益があり、千葉市に50万円程還元してもらったとありましたので。

○事務局 高洲コミュニティセンターだけの収益でなく、真砂コミュニティセンターの収支決算も合算した上で計算していますので、その関係で返していただく結果にはなりませんでした。

○部会長 高洲コミュニティセンターと真砂コミュニティセンター一緒で。

○事務局 同じマリンスタジアムの管理になりますので。

○部会長 そうですか。

続けさせていただきますと、予約方法について利用者の方々から、ある一定数の割合で不満の声が出ていますが、これについてどのようなことが問題になっていますか。できれば委員の方にコメントをいただけたとありがたいのですが。ここを改善してほしいということがもありましたら。

やはり、第1回目の調査によると、予約方法の不満に関しては、非常に不満で20%を超えてます。

○委員 施設設備も高いですよね。

○部会長 そうですよね。

○委員 去年の有料化の際に予約制に変わりまして、抽選などの予約方法が面倒くさいというか、少し複雑だと。しかし、私が知っている限りでは、そういうのはなくなっているはずだと思います。要するに、もう皆さん慣れてますし、稼働率もそれほど高くない

ので、部屋や時間によって予約できないという事態は少ないですから、それに対するクレームは減っているはずだと思います。

稼働率については、有料になってから下がっていますが、高洲コミュニティセンターは建物が比較的古く、他の所を使っている高齢者の方も多いものですから、無料にしてもそれ程稼働率は上がらないかと思います。さらに地域も高齢者が多くなって、利用するサークルが非常に減っています。サークルが今まで200あったのがサークルの解散によって20、30減っている可能性が高い。これは真砂も一緒だと思いますが、これについても、稼働率が上がらない原因の一つだとは思います。

○委員 以前と比べると、出入りする人口が本当に少なくなっています。前は一つの行事に抽選でたくさん来られたのが、今では子どもは半分以下になりましたよね。

○部会長 他に何かご意見はございますか。

なければ私、続けさせてもらえるとありがたいのですが、意見はございますか。

指定管理事業の実施状況ですが、私、先ほど施設を少し個人的に見学させていただいているいろいろと気が付いたのですが、やはり通常の法令で求められている定期点検、日常点検は肃々とこなしているのはわかります。それプラスこちらは他のコミュニティセンターにない特色が一つありましたので、これは指定管理者が頑張っているなと思いました。一言でいうと、利用者目線の工夫をしているなど。その証左として、各サークルを一覧表で紹介していますが、それはどこのコミュニティセンターでもやっていますよね。A4サイズ1枚にポスターを作って、ぜひ入会してくださいというような。肝心なのは、年会費まで掲示していることです。他は必ずしもそこまでしているとは限りません。それを見ると、年会費2万円のところもあれば月額5,000円と高額なものもあることがわかって、お財布と相談しながら入れます。

○委員 そうですね、一目で見るとわかりますね。

○部会長 やはりそこが不透明なところが、他のコミュニティセンターの利用者からするとつらいところがある。仲間うち集団で、高いお金を払える人はそういう活動に参加できるけれども、払えない人にとっては少し心つらいなというような意見がありまして、必要な情報を開示しているという点では指定管理者が工夫されているなど。そのようなことはしたほうがいいですね。

○委員 指定管理者制度の導入前からやっていますね。

○部会長 ああいう慣習は維持されたほうがいいかなと思います。

○委員 そうですね。

○部会長 自主事業について思うのですが、どういったテーマ性を持っているのかが判然としないですね。このコミュニティセンターの位置づけを指定管理者はどう考えているのか、そして評価をする市もどう考えているのか。この自主事業の一覧を見ると、健康増進や娯楽的なものといろいろありますが、こういったことが本当にコミュニティセンターに求められていることなのかなと。単に趣味を楽しむ人たちに部屋貸しやイベントを開催するだけなのかなといろいろと考えています。それに基づいて市で評価を下していると思いますが、市として、この評価点のつけ方の背後にある基本的な考え方というのを説明していただけますか。

もう少し説明しましょうか。もう少し言わせていただくと、公の施設として防災や警防

強化など、あまり楽しむ話ではなくて、学ぶようなものがあってもよさそうだと思います。例えばですが、高齢者が多いならばオレオレ詐欺にひっかかるような啓蒙教化的な教室とか、警察と連携をしたような防災教室とか、直下型地震に備えるとか、この界隈だと震災のときに液状化もあったわけですから、その時にどこが液状化しやすくて、どこが逃げる拠点になるのかとか、そういう教室もあってもよさそうな気がするのですが、そのような側面が全く見えないですよね。

○事務局 そうですね。行政としてもテーマ性ですか、そのような視点で見ていました。当然、指定管理者もそのような視点では捉えておらず、稼働率の向上に向けて、興味が湧きそうなテーマで自主事業をされているように思います。

○事務局 先日、真砂では地震が起こった場合に、地域住民がどのように動いたらいいかというような講座をやっていました。

○委員 そういうことは、地区連や町内自治会で真砂の部屋を借りて、何度も催されました。

○事務局 真砂コミュニティセンターのブログでもPRされていました。

○委員 この自主事業の内容はコミュニティ余暇センターが所轄でしたので、余暇事業として楽しんでもらうということで、どうしたら皆さん来てくれるかということばかりを考えていました。勉強をする場所というのは、公民館と考えていました。

○部会長 確かに。

○委員 そういうことで、コミュニティがここにあって、いかに皆さんに来て楽しんでいただかとかいうことをコンセプトにしていたように思います。

○部会長 社会福祉協議会は優先利用をされていますよね。

○委員 社会福祉協議会の地区部会はここが拠点になっております。

○部会長 余暇を楽しむという側面だけではなく、そういう公的サービスの拠点でもありますから、そこに対する指定管理者の姿勢というのがもう少し判別できるといいなと。

例えば防災教室一つとっても、自主事業ではなく共催という形もとれますよね。社会福祉的な活動団体の費用負担や各種の市政の問題について、指定管理者としても支援しますといったような市政との連携性が見えませんよね。

○委員 民生委員の団体もここを昔は使っていましたが、費用負担もありますので、今はお金のかからない学校の地域ルームを使うようになりました。

○部会長 ですが、こちらのホールは広いですよね。

○委員 借りています。全館借りて敬老会もここを使っています。

○部会長 ですから、そういうところについて、指定管理者の自主事業もしくは、共催という形でタイアップのサポートができるいると良いかなと。

○委員 以前、公共の事業のために場所を確保するのに、朝4時から並びました。今は優先的に取ってくださるようになりましたが、金銭までは面倒を見てくれませんので、お支払いしています。

○部会長 それは美浜区から本庁に上げていただけると。緑区からも同じような意見が出ています。

○委員 そうでしたか。

○部会長 緑区役所部会で、千葉市全体でそういった社会福祉に関する活動をどのよう

な形でサポートしているのかという、市政に対する疑問が出ました。ですから、これから住民主体のまちづくりを考えるのであればどうしても避けて通れない問題ですので、単に箱物として趣味、娯楽で稼働率を上げるだけでいいのかというところが気になっています。

一応、小学校などと連携をして、夏休みにいろいろな小学校のお子さんたちが利用できるような形もとっていて、地域との連携が進んでいるというのもわかりますが、もう少しその辺がわかりやすければと思います。

他にいかがでしょうか。

私からで恐縮ですが、低稼働率の諸室の改善策が目に見えた効果を得られていないので、やはり抜本的なことをやっていただきたい。その太巻き寿司の効果が好評だったという話はわかりますが、単発イベントですよね。

○事務局 そうですね、通年でということではないです。

○部会長 何か不定期で、もう少し頻度を上げていろいろできると思います。そういうところを指定管理者が本腰入れているのかどうかというのが、これではわかりづらいですね。

○委員 私、指定管理者を擁護するわけではないですが、指定管理者が独自で考えて自主事業をやっているので、そんなに大きな事業はできないと思います。委員がおっしゃったような提案というのは、やはり市の協力が必要となるものが多いので、行政側と指定管理者とのコミュニケーションを図って、そういう計画を両方で持たないと、指定管理者だけではなかなか難しいような気がします。

○部会長 他の区役所部会で拝見させてもらった他の指定管理者ですが、やはりいろいろと工夫している足跡がありまして、太巻き寿司以外では料理教室、おかし教室、パティシエ教室など様々工夫しています。委員のおっしゃるような行政との連携でいうと、それは大がかりなものが考えられると思います。例えば、郷土料理を振興させるとか、そういうものだと、やはり行政の力が必要になるかと思います。あとは、コミュニティセンターをどのように捉えているかにかかっています。指定管理者からすると商売の対象として見るのか、それとも公の施設としてこのまちを盛り上げていくための拠点にするのかと。

ですから、冒頭で区長の話もあったと思いますが、昔はベッドタウンで活気のあるまちが、今は高齢化が進んでいると。少し離れたところだとなかなかここに来ることが大変だと思います。ですが、そういういわゆる都市難民という人たちをほっとくわけにもいきませんから、その人たちを支えていく互恵的な、互助的なコミュニティをつくっていくことが今、千葉市の進めていることですよね。

そういう施設の一環として、そもそも直営でやっていた時にはそのような性格づけでコミュニティセンターはあったと思います。指定管理者に移管されたからとしてもそれが薄まるわけではないですね。ですから、その側面が少し後退している感がありますので、それを忘れてほしくないというのが外部有識者の意見でございます。

○委員 高洲は広いですから稼働率が問題になりますが、真砂の場合は狭いですからね。自主事業で料理教室もやったことがあります。そうすると皆さん来てくれますよね。想定6回なら6回で終わって、その後クラブがつくられますね。すると部屋が借りられないといった問題があって、途中で切れたことがありましたけど、男の料理教室は結構人気がありました。今でも公民館でやっていますよね。

- 委員 部屋数が少ないので、要するに稼働率が高くなるのは当然ですよね。
- 委員 そうです。もう足りなくてどうにもならない。3、4階しか部屋がありませんから。
- 委員 真砂の場合は部屋数が少ないので、高洲は、建物そのものが全部コミュニティセンターですから、その点は問題ありませんが。
- 委員 そうですね。真砂は利用度が高まっても、部屋数が少ないので、部屋を取るのが大変です。
- 委員 2時間区切りの料金設定を3時間や有料になる前の4時間単位にすることは、稼働率に関わってくると思います。
- 部会長 そのルールにかかるインフラ部分も千葉市の問題ですので、それはまた部会から千葉市に上げていきたいと思います。
- 委員 それから稼働率にも関係するかと思いますが、高洲の場合は空調が数日間壊れて冷房が入らなかつたことがあります。そういったことが起こると、次回からの予約を抑えようかという考えになる可能性もあります。
- 部会長 他に何か意見はありますか。
- 意見がないようでしたら、管理経費の縮減に移らせていただいてよろしいですか。
- お手元の資料の4-3の20ページ目に収支決算書がございます。その中で右側の欄に、左から順を追ってみると収入合計、支出合計があって、その支出合計の中で管理費があります。その最後の一番下に一般管理費が350万円とありますが、これを縮減すればより利用者に望ましい施策であったり、千葉市に対しての利益の還元であったり、こちらで働く従業員の方々への人件費のアップであったりと、いろいろと図れると思います。ここを見直してほしいと思います。
- ここには記載していませんけれども、恐らくここは本社費だと思います。
- 事務局 端末のリース代や社内ネットワークの関係です。
- 部会長 本社費ですよね。本社がどれだけこのコミュニティセンターを運営するのに貢献しているのか不明ですけど、いわば上納金的なものですね。筆頭株主が千葉市ですからこれ以上は何とも言えません。ただ、他の区役所部会でも他の事業者でもこういった本社費がありましたので、これを改善していただきたいなと。特に稻毛区役所部会では、毎年毎年改善命令が出ています。ここを縮減すればより利用者に還元できるかと思います。管理費経費については以上でございます。
- 今までの議論の中で指定管理者の施設管理運営のサービス水準の向上や業務効率化の方策または改善を要する点などを意見交換の中でいくつも出たと思いますが、他に何かありますか。

(意見なし)

特にないようでしたら、事務局でお取りまとめできますでしょうか。事務局で意見を取りまとめていただきますので、10分少々お時間をいただきたいんですけど、よろしいですか。

(異議なし)

○部会長 では10分休憩させていただいて、3時35分から再開させていただくことでお願いします。

(休憩)

○部会長 委員の皆様、よろしいでしょうか。

事務局と話をさせていただきまして、美浜区役所部会の意見を取りまとめるにあたりまして、委員が欠席されていることもありますので、1回清書をしてからテープも起こして、確認をしながら万全を期して進めていきたいので、メールなどで後日配信する形になりますが、よろしいですか。

(異議なし)

○部会長 ありがとうございます。

では、次に千葉市美浜区真砂コミュニティセンターについて、事務局の方々から説明をいただきたいと思いますが、評価シートの仕組みについては同じものを使っております。株式会社千葉マリンスタジアムが指定管理者ですので、財務状況についての意見は変わりございません。ですので、それを踏まえた上で事務局のほうからポイントを押さえて説明をお願いいたします。

○事務局 では、説明をさせていただきます。

資料の5-1をお開きください。

指定管理者は高洲コミュニティセンターと同じように、株式会社千葉マリンスタジアムとなっております。指定期間も同じであります。平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間となっております。

次に、2の管理運営の実績についてでございます。まず(1)主な実施事業の①指定管理事業につきましては、ご覧のとおりでございます。特に10月20日と21日に行われたコミュニティまつりでは、多くの近隣住民の方にもお越しいただき、来場者が約2万人と盛況でした。

②の自主事業につきましては、昨年度より16事業多い28事業の自主事業が実施されました。計画事業につきましては全て実施されており、新規の事業が18事業となっております。特に中段のノルディックウォーキングですが、平成24年度から新規事業としての展開となっておりますが、アンケートではウォーキングとは異なる体の使い方や効果が実感できた、開催を増やして欲しいとの意見が多く、大変好評を得ております。

次に(2)利用状況につきましては、平成24年度の利用者数は10万3,448人で、前年度比で108.4%です。これは地域と連携し、利用者のニーズを踏まえた多種多様な自主事業を実施し、利用者サービスの向上に努めていることが増加要因として考えられます。また、稼働率につきましても51.1%と昨年度よりも向上しており、これは稼働率の低い諸室を利用した自主事業を展開していることが増加要因と考えられます。

次に2ページをご覧ください。

(3)収支状況につきましては、利用料金収入が計画額を下回ったものの、自主事業における収入が計画額を上回り、支出についても計画額を大幅に下回ったことから、全体の決算額は119万5,000円のプラスとなっております。昨年度の決算額よりも59万3,000円の増となっており、これは稼働率の低い諸室にて自主事業を積極的に実施し、利用料金収入が増加したことによると考えられます。

(4)指定管理者が行った処分の件数、これは施設の貸し出しにおける許可です。

(5)市への不服申立てについてですが、申立てはございませんでした。

（6）情報公開の状況ですが、開示請求はございませんでした、

次に3、利用者ニーズ・満足度の把握についてでございます。まず（1）指定管理者が行ったアンケート調査の結果についてでございます。3ページをご覧ください。

調査の結果といたしましては、受付・清掃等については大満足、満足を合わせて50%前後、その他の項目でも普通以上の回答が過半数を超えており、概ね良い評価をいただいております。インターネットによる予約方法が導入された場合の利用希望は40.9%となっております。これを踏まえ、平成25年11月よりインターネット予約システムを導入予定です。

また③アンケートにより得られた主な意見、苦情とその対応ですが、まず、冷暖房の温度調節ができないとの苦情に対しましては、緊急度の高い設備から優先的に改修に努めていく旨を説明し、了承を得ております。

次に、埃が床や畳に残っているとの苦情に対しましては、清掃業者に対し、清掃作業後の確認を徹底するよう対策を講じております。

次に、トイレの悪臭についての苦情につきましては、平成25年度にトイレの排水管修繕を予定しており、トイレの悪臭が解消されると考えております。

続きまして（2）市に寄せられた意見、苦情ですが、ご覧のとおり2件寄せられました。まず抽選くじの交換をしていたサークルに対するクレームに対しては、施設職員より抽選に参加した当事者とそのサークルの代表者に対し、不正に当たる行為として厳重に注意を促しました。

次に、諸室利用団体の入替わりの際に、後から利用をするサークルがうるさいとの苦情が寄せられたことに対しては、施設職員より各サークルに対し、時間まで静かに待機してもらうよう説明し、ご理解をいただきました。

次に4、指定管理者による自己評価につきましては、まず施設管理運営については平成23年度からの有料化に伴う事務処理において、適正な人員配置と迅速、丁寧な対応を心掛け、トラブルなく運営できた。また、利用者との意見交換の場を設け、協力体制を築き、円滑な運営ができた。

事業運営については、地域と連携した自主事業や催しを展開し好評を得ており、計画以上の実施ができた。

維持管理については、ビル管理会社や市との連携により適切な管理ができたと自己評価しております。

次に5、市による評価ですが、評価は3段階評価の真ん中でありますAといたしました。理由としましては、地域と連携し、利用者のニーズに応じた新規の自主事業を展開したこと、他の管理運営についても事業計画どおり行われていること、利用者からスタッフ対応についても良好と評価されたことによるものでございます。

履行状況の確認につきましては、ご覧のとおりでございます。3点とした項目が12項目、2点とした項目は65項目、1点とした項目は0項目でございます。3点とした項目の主なものとして、5ページの（3）施設の効用の発揮、施設管理能力の中の利用促進、ホームページの更新につきましては、自主事業内容、諸室貸出状況、図書室新着本、ブログを新設するなど常に新しい情報を更新しており、評価を3としております。

また、その下の中段にあります自主事業の効果的な実施、自主事業の実施状況につきま

しては、地域の人材を積極的に活用し、利用者のニーズに応じた多くの新規自主事業を開発し、仕様・提案を上回る実績・効果がありましたので3としております。

その他の項目においては、概ね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われておりましたので、全て2といたしました。したがいまして、6ページにございます全ての項目の評価の平均として2.2点となっております。

指定管理者評価シートの説明につきましては、以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、先ほどと同様にこの評価シートに基づいて、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上や業務効率化の方策、また改善を要する点について委員の皆様からご意見を賜りたいと存じます。何か意見はございますか。

○委員 アンケートの結果についてですけれども、概ね良好ということですが、予約方法については、第2回は不満・苦情も合わせて18.7%と、かなり高い数字かと思いますが、予約方法の内容で利用者から問題点が挙げられていることはあるのかということと、それに対する解決策はどうするのかということについて、ご説明をお願いしたいと思います。

○事務局 利用料金制度が平成23年の4月から始まったことで、2コマ単位の貸出しどとなりましたが、やはり貸出時間を広げてほしいというような意見があります。ただ、そちらは今のところ継続をしていくと考えております。その他に、1か月分を予約したいとの意見が多いですが、そのような意見を踏まえまして、今年の11月から導入予定であるインターネット予約システムにおいては、1か月分を予約できるようなシステム構築を検討しているところでございます。

窓口に行かずして抽選の受け付けができますので、利便性は向上しているかと思います。

○部会長 他に何かございますか。

では、真砂コミュニティセンターには図書室がありますよね。

○事務局 はい。

○部会長 選定評価委員会の際に、株式会社千葉マリンスタジアムがこちらの指定管理者になった暁には、毎月10万円程の図書費を充てるという話がありまして、どの程度書籍が増えたのか気になるのですが。今わからなければ結構ですが、図書費を計上されていて、図書の冊数が増えたのであれば、それが利用者の方にとっても望ましいことなので、何らかの形でわかるといいなと思います。

○事務局 わかりました。新聞・図書費としては100万円程度支出しておりますが、この内訳につきましては、確認をさせていただきます。

○部会長 はい。

他にいかがでしょうか。

伺いたいのですが、同じような質問が重複しないようにと努めてはおりますが、まず指定管理事業を肅々とこなしていることについては提出された書類や見聞によって判明することなのですが、自主事業でとりわけ目を引いたのが普通救命講習会です。こちらの自主事業の中に千葉市防災普及公社指導員による普通救命講習会をやったとあります。公の施設である以上、行政が行き届かないところについて補完するような形で、このような趣味や娯楽でない事業が繰り返しあると、利用者の方にとっても望ましいのではないかと思い、

いい評価を私は考えております。もちろん、多種多様の取り組みをなされていて、その中で地域の人材を積極的に活用したという点も高く評価しております。

しかしながら、このような点について市の評価を見てみると、資料5-1の4ページ(2)サービスの向上の利用者支援の中の3行目、地域の文化資源・人材等の情報発信が2点。備考には、地域の人材を発掘し、新規に自主事業を展開するなど努力が見られるとあります。そして5ページ(3)施設の効用の発揮、施設管理能力の自主事業の効果的な実施の中の4段目、自主事業の実施状況が3点。備考には、新規自主事業も実施した地域の人材を積極的に活用した企画も評価できるとあります。同じような文面で、片一方が2点、片一方が3点となっていますが、それでしたら希有な活動ですので、利用者支援に2点ついているところを私は3点でもいいような気がします。もしミスプリントであれば訂正していただき、何か積極的な理由があればご説明いただければと思います。

○事務局　　去年、2回モニタリングをやっていまして、それが基になっています。実は美浜区の新規事業として人財バンクという自主企画事業を昨年度から始めましたが、その登録を始めたのが1月からでして、そういった人材を活用したのがまだ2・3件で件数が少なかったので、こちらの地域の文化人材等の情報発信を2点にしております。

○部会長　　新規の事業ですからね。

○事務局　　ただ整合性を見るのであれば、こちらの評価を合わせた方がよかったかなという点はございます。

○部会長　　別のものだったならばまた話は違ってくると思いますが、一瞬同じようなことかなと思いましたので、確認しました。

それから、資料5-3の19ページの利用者アンケートの結果の総括の中の、白丸で上から5番目の企画等で、以前はコミュニティスクールがあったとありますが、コミュニティスクールというのはどういった性格のものでしょうか。

○委員　　自主事業のようなものです。運営委員がどんなことをしようかと考えて。優しい株の始め方とかそんなことをやりまして、たくさん的人が来て、もう一回やったこともあります。

○部会長　　それはスクール的な色彩が強いのでしょうか。

○委員　　はい。コミュニティスクールがあると自動的にお部屋はコミュニティスクールのものですから、サークルがお休みになるといった弊害もありましたけど、そんなことをしておりました。

○部会長　　学ぶことに対して需要があるという理解ですか。

○委員　　そうですね、やはり今ですとまた違うとは思います。例えば株が流行った時には株の始め方、他にもゴルフやテニスの始め方といった初歩的なことをやりました。ここで集まって座学をした後どこか借りてまたやるということもありました。それをコミュニティスクールと言いました。大体4回から5回。長くて6回、1カ月半ですね。継続的にやりました。

例えば株でしたら野村証券から人を呼んで来るとか、千葉大の先生をお呼びするとか、講師を変えて勉強をしました。

○部会長　　いい取り組みですね。

○委員　　他には手づくりの楽器を作ろうと、地元から講師を探してきたこともあります。

幾つか班に分かれていますけど、手づくり学級の会は未だにやっています。ですから、地域にたくさん貢献したなと時々思っています。

○部会長 すばらしい活動だと思います。

市民大学みたいですよね。

○委員 そうですね。

それから、男の人に少し料理を学んで欲しいと、殿の料理教室をコミュニティスクールでやりました。

○部会長 学びもきちんとあったのですね。

○委員 そうですね。題名は殿の料理教室なんでしたが、ご飯の炊き方からさんまの焼き方やお刺身の切り方まで、初歩からやりました。

○部会長 やはりコミュニティにデビューするにあたって、恥ずかしくて一步踏み出せない人たちにとってはありがたいものですよね。

○委員 そうですね。ですから、地元の人に声かけるとか、何とかしてコミュニティに来てもらいたいということで努力をしました。それが今に繋がってたくさんの方が来て、コミュニティまつりなんてすごい人ですものね。

高洲は高い建物がありますから、人口が多いですよね。ですから、あちらの5・5まつりにはかなわないといつも言っていますけども、真砂も高洲を見習って頑張っています。

○部会長 そういう学びがあることで、地域に根差して学びが浸透していくのは、有識者としてはすごくありがたいです。

○委員 遊ぶだけではつまらないということもあって、やはり新しい知識を吸収したいというのは皆さん、幾つになってもありますので。

○部会長 教員の立場で言いますと、学生があまり本を読まないので読書会をやるようよく言います。社会人になっても自己啓発は当たり前だからというように。

○委員 コミュニティですから、どなたかがいるから一緒に行こうというのも大事ですよね。やはり一人ではなく、誰か誘って一緒に楽しもうと。

○部会長 そうですよね。皆である本について批評し合って、それで横の糸もどんどん結んで。

○委員 今は、昔と違って読書会なんてなくなってきたよね。読書をして感想を言い合うというのは、私たちが若い頃流行りましたけど、そういう会は今ないですね。

○部会長 そうですよね。丸の内には、丸の内のビジネスマンが集まっているところで朝学というのがあります。

○委員 お互いに読んだ本の感想を言い合うような、それも楽しみですよね。感じたこととか、昨夜うれしくて寝られなかったとか、そういったことを言い合う人もいない。本も新聞も読まず、スマホで見るという感じの人が多くなってしまって。

○部会長 以前に丸の内で朝学の講師を務めたことがありますて、会計学やファイナンスといった証券関係の話をしました。

○委員 ですから、そういう入門編が欲しいですよね。コミュニティセンターで、難しい本の入門編をやってくれるといいですね。

○部会長 何かそういうスクールがあれば、そういう文化というのは大切にしたいなと。

○委員 囲碁講座、将棋講座全部やりました。講座をすると、じゃあ一から始めてみよ

うかなという人が出ます。

○部会長 サークルだとある一定の水準まで達していますからね。

○委員 例えば油絵教室だって昔の経験があるからサークルに入れるので、一から始める人は入れませんよね。

○部会長 そうですよね。

○委員 何もわからないですもの。ですから、初歩から始めるには、やはりコミュニティスクールがいいと思います。

○部会長 そうですよね、よくわかります。

○委員 いつも知らない人は知らないですよね。駅にポスターを張ったらどうかと色々と私たちも考えましたけど、こんなことをやっているよといったPRをもっとして、皆さんに知ってもらうというのが大事ですよね。

高洲は皆さん知っていますよね。高洲のコミュニティセンターで色々とやっているのを磯辺の人も知っています。真砂はPRが下手なのでしょうか。

○委員 そうでもないと思いますが。

○委員 そうですか。

○部会長 午前中、緑区役所部会で委員と一緒に審議して、色々とご意見を聞かせてもらいましたが、自治会や町内にローラー作戦をかけていったみたいです。そちら側が力を発揮されている。

○委員 今、個人主義が多くなりまして、この辺は各自治会に小さい集会所があるんですよ。そこで個人的に借りて、個人的に楽しんでいる人が多いですね。先ほどもおっしゃっていましたように、公的な場所を借りないで、そういった自治会の中の集会所のような場所を利用する人も増えていますね。そうすると、あまりやかましいことも言われないで、同じお金をかけるなら、自分たちの好きなように2時間楽しみたいという人もいるようですね。

○委員 高洲は、自治会が活動を結構していらっしゃるのでしょうか。

○委員 高洲はやっていますね。

○委員 真砂は、自治会の活動というのは少ないような気がします。

○委員 真砂はないですね。磯辺は自治会活動も多いです。

○委員 ですから、真砂コミュニティセンターを利用する人も多いのでしょうか。

○委員 狹いというのもありますけどね。

○部会長 稲毛区役所部会では、公民館や自治会の集会所とコミュニティセンターの違いについて委員から問題提起がありましたので、差別化したほうがいいのではないかと。その一つのアイデアとしてコミュニティスクールというの面白いと思います。

○委員 「以前は」ですから、今はありませんが。

○事務局 そうですね。

○部会長 これをするには、利用者の声をきちんと拾っていかないといけないので。

○委員 そうです。ですから、例えば運営委員では、たくさんアンテナを立てて要望をキャッチして、反映していかないとダメですよね。

○部会長 こういった要望が出ること自体が、指定管理者と地域住民と、先ほど出た行政との繋がり・連携が密でないと思います。先ほどの朝学などの読書会といった入門的な

講義の例ですが、区役所の大卒の方が本を1冊紹介して、地域との交流を持つというのも一つの手だと思います。そうなれば、行政と住民と指定管理が繋がるというようないい形の相乗効果がうまれるでしょう。

うちの学校では、社会人が本を読んで学生に読み聞かせるところがあります。そういう学校に変わりつつあります。

やはりPRや地域住民の声、こういったコミュニティスクールがあったといったところも指定管理者に酌んでほしいと思います。

○委員 コミュニティスクールはいいですよ。終わった後、その人たちだけでまたサークルを作ります。そうするとまた一つサークルができ、また一つサークルができということで、どんどん発展していきますよね。

○部会長 ですから、サークルを新たに作る、それを手助けする機能がありますよね。

○委員 そうですね。やはり皆さん、できているサークルには入りにくいですよね。

○部会長 そうですよね。

○委員 大丈夫といつてもなかなか入りにくいので、やはり一から、要するに将棋でいうと駒の並べ方、碁石でいうとどうやって並べるのかもわからない人たちが、一から並べるというのは、やはり意義のあることだと思いますね。

○部会長 潜在的な利用者を掘り起こせますよね。

○委員 そうですね。新しい遊びというか、学びを見つけて欲しいですよね。

○部会長 傾聴に値するすばらしい意見だと思います。

サービス水準の向上や業務効率化の方策、改善事項等について意見がいろいろと出ました。また真砂の収支計算書を読みますと、一般管理費で本社費があり、社内ネットワーク・リリースといった諸々を含めて130万円。この本社費を縮減すれば、より水準の高いサービスが提供できるのではないかと、委員の一人としては思います。

他に皆様から何かご意見等はございませんか。

(なし)

○部会長 ありがとうございます。

指定管理者が株式会社千葉マリンスタジアムで同一であることもあります、真砂コミュニティセンター、そして高洲コミュニティセンターについて意見を交換させていただきました。こちらの真砂コミュニティセンターについても、この後、事務局で意見を取りまとめていただくことになりますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 その意見の内容につきましては、発言内容や文言等を修正しますので、別途改めて皆様にメールやファクス等で配信して確認をしていただくことになりますが、そちらもよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 ありがとうございます。

では、これらを踏まえた上で最終的に事務局と皆様の意見を取りまとめて、事務局そして部会長・副部会長で最終調整し、選定委員会に皆様の意見を反映させた上で今後の施設管理運営に大いに反映させていただきたいと思います。

以上、何か他にご意見等はございませんか。よろしいでしょうか。

では、以上で指定管理者の行った施設管理にかかる年度評価についての審議を終了させていただきたいと存じます。

それでは、最後に、議題3の今後の予定について、事務局からのご説明をお願いいたします。

○司会 今後の予定についてご説明させていただきます。資料6をご覧ください。

本日、委員の皆様からいただきましたご意見につきましては、部会長さんから選定評価委員会の会長さんにご報告をいただき、その後、会長さんから市長あてに、委員会の意見として答申をしていただくという流れになります。

この委員会の答申を受けまして、施設所管課が委員会のご意見を指定管理者評価シートへ記載し、9月上旬までに市ホームページに掲載し公表するとともに、指定管理者へ通知いたします。

また、今回の部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても同様に市ホームページにて公表することとなります。

なお、会議録につきましては、後日委員の皆様にご確認をお願いいたしますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

ただいまの事務局からの説明について、何かご質問やご意見はございますか。

(なし)

○部会長 では、皆様のご協力によりまして、本日の議事は全て終了いたしました。皆様、本当にありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

○司会 長時間にわたり慎重なご審議、ありがとうございました。

以上をもちまして、平成25年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回美浜区役所部会を閉会いたします。

委員の皆様、本日はお忙しい中、ありがとうございました。